

# 「防犯教室」を実施！・・・幼児対象誘拐防止巡回指導車「まもる号」来園

～「四つの約束」を忘れることなく、安全な生活を！約一時間、真剣に参加することができました。～



6月27日(水)、幼児対象誘拐防止巡回指導車「まもる号」が来園し、本園遊戯室で「防犯教室」を行いました。今年5月に新潟市で起きた「小学2年生を連れ去って殺害し、線路に放置し列車にひかせる」事件は記憶に新しいところです。栃木県警察本部では、このような悲惨な事件が起きないように、幼稚園や保育園、小学校などを対象として、「まもる号」を派遣し、専門スタッフ(今回は3名)による「楽しく学べる防犯教室」を実施しています。



10時に園長先生と「まもる号」の担当スタッフの方のあいさつから始まり、次に子どもたちの興味を引くため、パネルシアターが行われました。目隠しをした動物の切り絵を見せ、その動物の名前を当てるクイズです。ばんび組さんや年少組さんも積極的に手を挙げたり前に出て答えたりすることができました。



次に、「赤ずきんちゃん気をつけて」というDVDを視聴しました。離れた所に住んでいる、病気のおばあちゃんのお見舞いに一人で行くことになった赤ずきんちゃん。しかし、途中には「赤ずきを連れ去ろうとするオオカミ」がいろいろなわなを仕掛けてきます。赤ずきんちゃんは、「知らない人の車には乗らない」「知り合いであったとしても、話していることが事実かどうか確認する」など、お母さんから言われた注意をしっかりと守って、無事おばあちゃんの家にとどり着くことができました。この他にも、「一人で寄り道をしない」「出かける時は、どこへ行くのか必ず家の人に伝える」など大切なことを学びました。



次に「人形のしんちゃん」が登場すると、子どもたちの興味は最高潮に達しました。腹話術で、しんちゃんと絶妙なやりとりをして園児たちを引きつける女性スタッフの話術のすばらしさにビックリしました。ここでは、次の基本となる「4つの約束」を確認しました。

- 1 一人では遊ばない
- 2 知らない人にはついていかない
- 3 大きな声で助けを呼ぶ
- 4 だれとどこで遊ぶか、家の人に話す



また、知らないおじさんに声をかけられた時は「しっかりと断る」こと、連れて行かれそうになった時は「体を丸め石のようになる」ことなどを、実際に年長組の代表の子が前に出て発表してくれました。



今回の「防犯教室」は1時間を超えるものでしたが、子どもたちはしっかりとした態度で最後まで集中して参加することができました。素晴らしいことだと感じました。

- 【写真】・・・(一番上)全員が、「真剣な表情」で話を聞くことができます。  
(2番目)「いないいないばあ」と、目隠しをする子どもたち。反応抜群！  
(3番目)パネルシアターで目隠しをした動物の名前を答える子どもたち。

(4番目)：「しんちゃん」登場。「まもる号」のスタッフの方の腹話術の見事なこと。子どもたちをとりこにしてみました。

(5番目)前に出て発表をする年中組さん。この後、一番下左側の写真のように「連れ去られそうになったら、手も体の中に入れて石のように」を実演しました。(下の右)優しくなおじさんでも、気を許さず、さすが年長組さん、堂々と受け答えをしていました。